

R4年度 事業名	人間ドック検査料補助事業(国民健康保険会計)			
R3年度 事業名	人間ドック検査料補助事業(国民健康保険会計)			
総合戦略 体系	332	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	健康づくりと積極的な介護予防の推進

PLAN (計画)	部署名	国保年金課	開始年度	1996	終了年度	9999
	目的	人間ドックの受診により病気の早期発見、早期治療につなげ、被保険者の健康維持とともに医療費の抑制を図る。				
	概要	人間ドックを受診した30歳から74歳までの国民健康保険被保険者に対して、検査費用の一部を補助する。また、検査の結果要観察以上の人には医療機関への受診を促す。				
	コロナ対応 の取組	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受け入れ医療機関側に制限がかかる可能性があるため、検査項目や受診日が変更になる可能性がある旨を、助成申請時に周知する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容	当市で確保した病院で人間ドック受診枠での受診に対して、費用の一部を補助する。応募者多数の際は抽選。		
現在	その他					

DO (実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	
	人間ドック受診対象者への通知回数	回	目標値	1	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1			
	成果指標								
	指標名	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	
	当該事業定員に対する受診者の割合	%	目標値	100	100	100	100	100	
			実績値	96.7	73.0	57.8			
			達成率	96.7	73.0	57.8			
	計算 根拠	(人間ドック受診者数+脳MRI受診者数)/人間ドック受診者定員 H24までは人間ドック受診者に占める60歳未満の男性の割合を指標としていたが、H25に対象年齢を拡大したことから定員に対する受診者の割合に変更、H28		実績値	464/480	292/400	231/400		
		ランク	A	C	C				
	前年度 ランク B、Cの 理由	コロナの影響で受診控えが顕著であった。							

【単位:千円】

事業費	区分	2018	2019	2020	2021	2022	タイプ	会計	国民健康保険事業特別
	予算額	15,965	15,496	13,480	13,480	13,475		事業タイプ	交付金事業
	決算額	14,343	13,922	9,033	7,501			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R4年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	6	1	1	2	ヘルスパイオニア事業費	19,315	13,475
2							
3							
4							
5以降							
合計							13,475

No	R4年度補助金等名称	金額(千円)
1	県2号交付金	5,136
2		
3		
4		
5以降		
合計		5,136

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	140

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R4方向性⇒ <b>事務改善</b>
取組内容	年齢枠(30歳~74歳)を維持して実施する。なお、定員に達しない場合は、市内の病院に限り新たに申請を受け付ける予定。追加募集については、国保証一斉更新に同封するチラシに案内を入れ周知する。
来年度の実績	231人に補助を行った。
R3年度実績とR4年度の経過を踏まえた課題	これまで健康づくり課と連携して特定健診受診券に同封して人間ドック助成の案内を送付していたが、コロナによる実施時期のスレや送付量の問題により、令和2年度から人間ドック助成の案内を同封できていない。利用者からも知らないうちに申請時期を過ぎていたという意見をいただくこともあり、事業周知不足が課題となっている。
実績と課題を踏まえたR5年度の変更点	健康づくり課と協議し、特定健診受診券送付案内文などに人間ドック実施の告知スペースを設けることはできないか検討する。さらに、電子申請での受付を広く周知して行く。さらに受診時期を選ばない補助金制度での助成も併せて検討する。
R5方向性⇒	<b>維持</b>
CHECK(次年度方向性の目安)とR5年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2019	2020	2021	2022	2023
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R4年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): 0
R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒